

ひとが元気！まちが元気！

「未来につながる健康都市 かのや」の実現

令和4年度

予算

令和4年度鹿屋市当初予算が令和4年3月鹿屋市議会定例会で議決されました。継続的に実施する事業や年度当初から着手することが必要な事業を中心に、骨格予算として編成された今予算をご紹介します。
 鹿屋市財政課 ☎0994-31-1126

02 一般会計歳出

歳出の主なものとして、扶助費は、社会福祉費の障がい福祉サービス費などの増により、2.2%増の約158億6,500万円を計上しました。普通建設事業費は、北部学校給食センター整備事業や中学校空調化推進事業などの減により、35.9%減の約31億2,800万円を計上。物件費は新型コロナウイルス対策事業などの増により2.4%増の約73億4,000万円を計上しています。公債費は、償還元金の増により、2.8%増の約46億3,100万円となりました。

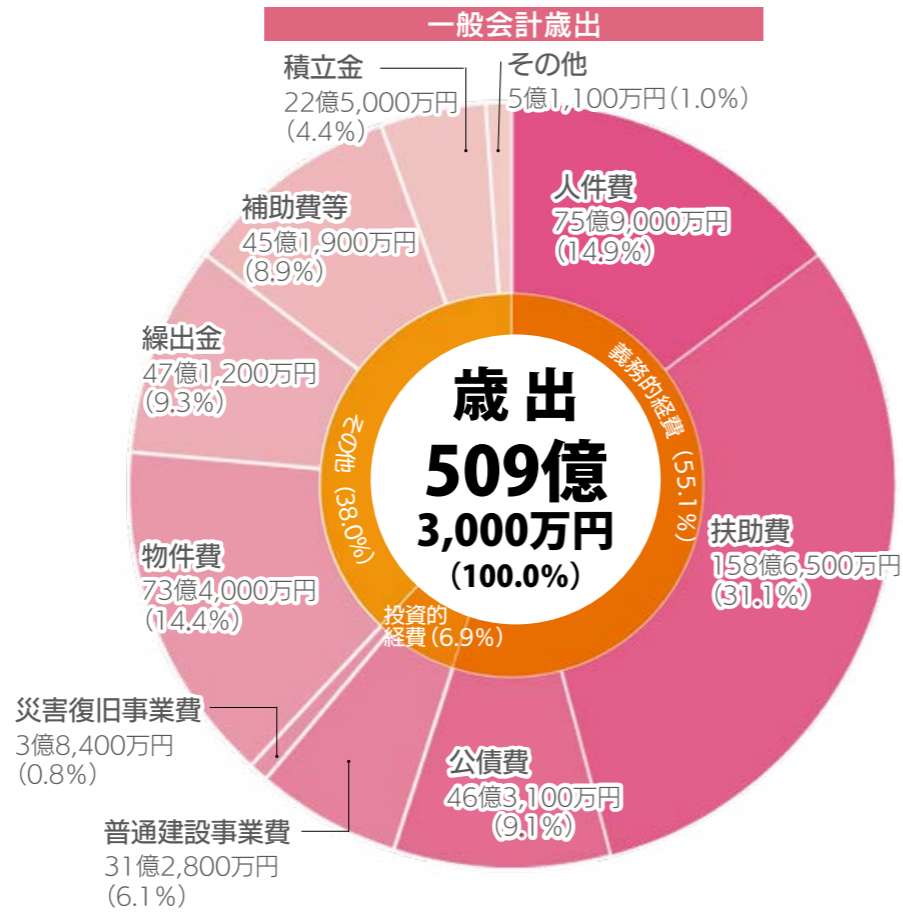


表2 市民1人当たりの予算（一般会計の歳出額を、令和4年2月1日現在の人口101,441人で割った額）

市民1人当たりの予算 502,065円（一般会計分）

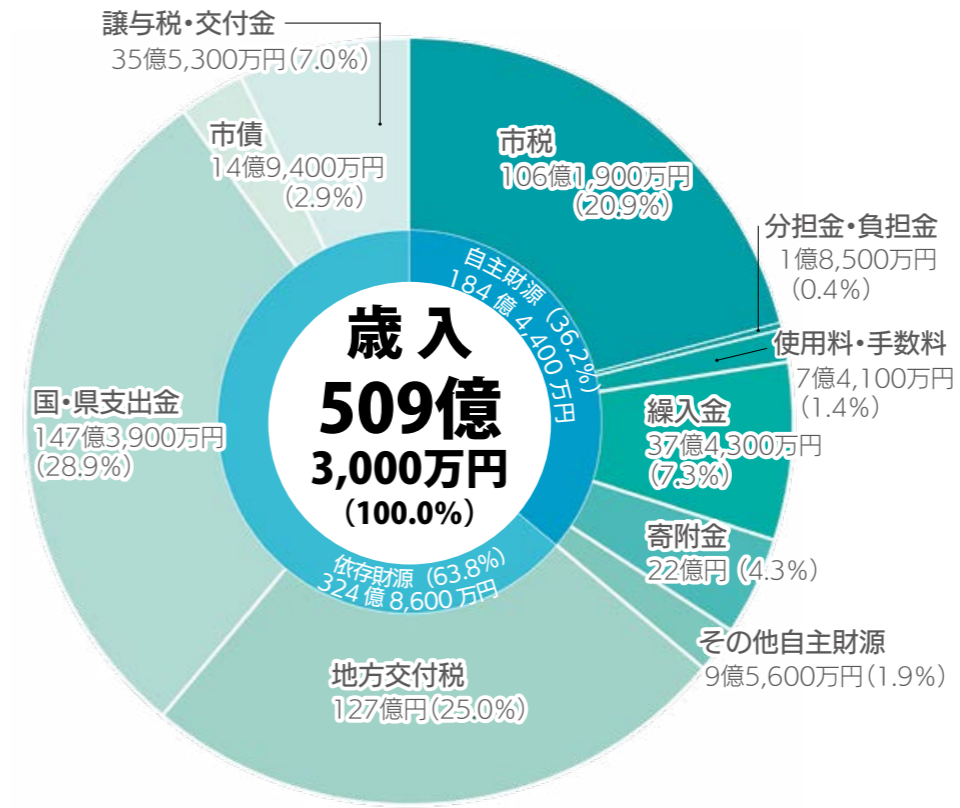
市民1人当たりの予算（歳出）を目的別にみると、

民生費 219,136円 (43.6%) 子ども、高齢者、障がい者の福祉増進等	総務費 56,743円 (11.3%) 庁舎管理・選挙・市税の徴収など	公債費 45,654円 (9.1%) 市の借入金の返済に要する経費	教育費 41,520円 (8.3%) 学校の管理運営やスポーツの振興等	農林水産業費 30,313円 (6.0%) 農業・林業・畜産業・水産業の振興等
衛生費 28,061円 (5.6%) 健康管理、ごみ、し尿の処理等	土木費 23,186円 (4.6%) 道路、公園、市営住宅の維持管理・整備等	消防費 13,928円 (2.8%) 消防業務、災害対策等に要する経費	商工費 7,484円 (1.5%) 商工業や観光振興、企業誘致の推進等	議会費 2,790円 (0.6%) 議員報酬や議会の運営に要する経費

表3 特別会計及び企業会計予算

●特別会計			●企業会計				
特別会計区分	予算額	前年度比	区分	水道事業	前年度比	下水道事業	前年度比
国民健康保険事業	112億9,980万円	▲3.2%	収益的収入	18億1,764万円	▲2.2%	9億1,372万円	▲6.9%
後期高齢者医療	14億9,487万円	7.7%	収益的支出	16億570万円	▲2.9%	8億6,153万円	▲5.6%
介護保険事業	119億1,380万円	0.9%	資本的収入	3,290万円	▲35.1%	3億2,517万円	61.2%
			資本的支出	9億8,975万円	11.9%	6億7,948万円	16.3%

一般会計歳入



01 一般会計歳入

歳入の主なものとして、自主財源のうち市税は、8.5%増の約106億1,900万円を計上。繰入金はふるさと鹿屋応援基金の増などにより、約37億4,300万円となりました。本市の自主財源比率は、36.2%であり、昨年度と比較して1.8%増となっています。一方、依存財源のうち歳入全体の25%を占める地方交付税は、約127億円を計上。市債は、北部学校給食センター整備事業などの終了により、62.5%減の約14億9,400万円を計上しました。

表1 財政事業を家計簿に例えると

令和4年度一般会計予算を分かりやすく理解してもらうために、予算を10万分の1にして家計簿に例えてみました。

収入		支出	
()内は市の収入科目		()内は市の性質区分	
給料	(市税) 106,200円	食費	(人件費) 75,900円
パート収入やアパートの家賃収入など (使用料、手数料・雑収入など)	34,800円	光熱水費、日用雑貨	(物件費) 73,400円
預金の取崩し	(繰入金) 37,400円	家や車の修繕費	(維持補修費) 3,900円
前月収入の残り	(繰越金) 6,000円	医療費	(扶助費) 158,700円
親からの援助 (地方交付税・国県支出金)	310,000円	町内会、サークル会費	(補助費等) 45,200円
借金	(市債) 14,900円	家の増改築費	(普通建設事業費等) 35,100円
収入合計	509,300円	ローンの返済	(公債費) 46,300円
		定期預金	(積立金) 22,500円
		子どもへの仕送り	(繰入金) 47,100円
		予備費等	(予備費等) 1,200円
		支出合計	509,300円